

## 第3回ビジネス講座 「地域におけるコミバスの役割と可能性」

### ～誰しも老いるその時に～ 概要

日時：平成29年12月11日（金）16:00～17:30

会場：横浜第2合同庁舎関東運輸局会議室（16階）

講師：南房総市企画財政課副主幹 畷田 紀之 氏

※合併により不均衡が生じたコミュニティバス等の再編整備に取り組み、市内全地区長への説明や市役所庁内の連携・情報共有等を通じて、快速バスの運行やデマンド交通導入等、「機能と役割を明確にした公共交通体系」の構築を図られ、現在は高速バスを使った、鮮魚配送事業（客貨混載）を取り組まれている。

秦野市公共交通推進課長 保坂 富士雄 氏

※交通渋滞問題や交通空白地域解消のため、TDM 施策による交通需要側の意識改革と乗合タクシーの導入による地域公共交通の利便性向上を図り、自家用車から公共交通への転換や地域公共交通の維持・活性化を図られ、現在はデマンド型乗合タクシーの利用条件を緩和し利用者の拡大を図られている。

NPO 法人まちづくり支援センター代表理事 為国 孝敏 氏

※佐野市内の公共交通体系の見直しに際し、交通空白地域において、自ら提案・実現したワークショップの全てに参加し、最前線に立って地域住民と行政との橋渡し役を務め、住民主導による実証運行につなげられ、現在は北関東だけではなく、千葉県木更津市や北海道釧路町などの網形成計画策定に携わるなど、多方面で活躍されている。

参加者：60名

### 【鼎談】

第3回ビジネス講座では、「地域におけるコミバスの役割と可能性」～誰しも老いるその時に～と題し、公共交通マイスターである3名の講師の経験や知見から、ご意見をいただく鼎談方式で進められました。

質疑応答では、多くの自治体担当者から運行にあたり様々な関係者との調整方法など実務的な質問があり、地域における課題・悩みは共通した問題意識であることが伺えました。マイスターの皆さん、大変ありがとうございました。



※鼎談中の講師の皆様  
(左から畷田氏、保坂氏、為国氏)

## 【質問概要】

- ・各部局との連携というキーワードがあったが、福祉、まちづくり関係など各関係部署との意見の調整方法はどのようにすればいいか。
- ・地域の方が公共交通に対して当事者意識を持つまでどのくらいかかるか。また良いきっかけがあれば教えてほしい。
- ・乗合タクシー以外に検討した移動手段、交通モードはあるか。また乗合タクシーの導入に至ったプロセスを教えてください。等

## 【参加者感想】

- ・乗る人、事業者、行政等、多様なアクターとの対等な会話の重要性を学びました。
- ・公共交通事業に携わっている中で、住民との意見調整や高齢者の足の確保などの課題に対する解決のアイデアをいただけたと思います。
- ・公共交通マイスターからの話を聞くことができ、日々の業務において、具体的にどのようなことを考え、整理して取組んで行けばよいが参考になりました。



※鼎談中の会場の様子